

西光寺だより

第九号 平成二十三年五月一日発行

新緑の美しい季節となりました。五月は、木々がみずみずしい命をたたえた姿をわたくしたちに見せてくれます。

気候の良いこの時期は、西光寺周辺の河原でもバーベキューをする人々が見受けられますが、皆が集って食事をするのもまた楽しいものです。屋外での食事は空や風の気持ちよさと相まってよりいっそうおいしく感じられます。食事をするとは食べることだけでなく、きつと周りの空気や共にいる人とのつながりも共にいただいているのでしようね。食する栄養と心の栄養、どちらも人間にとって欠かすことのできない大切な大切なものです。

そして、普段わたくしたちが何気なくいただいているその食事は、たくさんの命をいただいているということを決して忘れてたくないものです。植物は土の栄養をいただき、雨の水分をいただき、太陽の光を浴びて大きくなります。動物や魚もまた、大地や海の生命をいただき成長します。たくさんの物を食べるわたくしたちは、本当にたくさんの命をいただいているのですね。

「いただきます」「ごちそうさまでした」、子供の頃から教えられたこの食事のことばは、日本人の命あるものへの感謝の意味が込められているのでしよう。普段はあまり意識しないことが多いかもしれませんが、皆で食事する時などには、改めていただいている命を思ってください。



● 今月のことば ●

『食事のことば』

【食前のことば】

(合掌)

多くのいのちと、みなさまのおかげにより、

このごちそうをめぐまれました。

深くご恩を喜び、ありがたくいただきます。

【食後のことば】

(合掌)

尊いおめぐみをおいしくいただき、

ますます御恩報謝につとめます。

おかげで、ごちそうさまでした。

平成二十一年浄土真宗本願寺派宗門より制定された新しい「食事のことば」です。自ら声に出すことにより、目の前の食事にはそこまでに至る大きなおかげとめぐみがあることに気付くことが出来ますね。

◆先月の報告◆

四月二十三日、十一時より西光寺本堂にて初参式を行いました。

初参式とは、初参りともいい、子供が生まれたことを祝い、所属しているお寺や本山に初めてお参りする式のことです。生まれがたき人間として生まれ、ありがたき仏法にあえる人生が恵まれたことを親子ともに喜びます。生後一カ月から百日目くらいの適当な時期に連れてお参りします。

新任職となつて初めての初参式をお勤めさせていただきましたが、赤ちゃんの初々しいそのお姿は本当に可愛らしく、あたたかな心持ちにさせていただきました。ご家族で阿弥陀様に新しい命が生まれたことをご報告できることはこの上ない喜びでしょう。

繋がってきた命、本当にであえて良かったですね。私どもも同じように嬉しい気持ちにさせていただきました。ようこそのお参りでございました。



＊まいかわ ゆなちゃん初参式＊
おめでとうございます！



♪お知らせ♪

現在まで皆様にお知らせしておりませんでした。西光寺では初参式の受付も随時おこなっております。先述いたしましたとおり、初参式は、子供が生まれてから生後一カ月から百日目くらいまでが適当とされておりますが、阿弥陀様の御前で仏法との出会いをともに喜びたい方であれば、おいくつでも構いません。

わたくしどもにとつても、大変嬉しいことでもあります。また、子供の声が響くお寺となるよう日々努めてまいります。

詳細は、西光寺にお問い合わせください。電話、FAX、ホームページにも受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。

☞あしがき☞

先月、四月三日に親鸞聖人七百五十回大遠忌ならびに西光寺第二十二世住職継職奉告法要の際にもお勤めいたしました。このたび本山京都西本願寺・阿弥陀堂で四月八日、東日本大震災追悼法要がご門主、新門さま、お裏方ご臨席のもと営まれました。

この法要は「すべての被災者の悲しみに寄り添い、思いを分かち合つて」と営まれ、現地の被災状況とこれまでの宗門の取り組みが報告されました。

改めて、いのちについて思いを寄せる法要となりました。 合 掌

浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺

大阪府茨木市西河原一七七一

電話 ○七二一六二二一四七九四

FAX ○七二一六二二一九二九一

<http://www.osaka-saikouji.net/>